

# まちづくりニュース（第2号）

## 第2回「楽々まちづくり活動」ワークショップ 開催報告（速報版）

### 1. 開催概要

日時：平成22年9月30日（木）18:30～20:30

会場：苗穂記念館2階

参加者：苗穂連町役員・福まち・民児協関係者17名＋湯浅会長・清水所長・事務局4名

### 2. 前回の振り返りと第2回の目標

#### (1) 前回の成果：まちづくり活動シート（別紙参照）

第1回ワークショップで棚卸した苗穂東地区「まちづくり活動」（全60件、のべ100件強）を整理し、下記～のシートに「活動概要」「概ねの日程」「主な運営担当者・参加者」の概要についてとりまとめた。

なお本シートは、活動全てが正確に記載されているものではないため、今後地域住民による充実を企図する経過的な成果であることを参加者と確認した。

「まちのにぎわい・交流づくり」

「日常の生活環境づくり」

「日程表」

#### (2) 前回出された「課題」と第2回の目標

第1回ワークショップにおいて活動を棚卸するなかで、苗穂東地区の「まちづくり活動」に関する「課題」が参加者よりすでに出され、主に以下の3点に整理できた。

協力体制や組織連携の仕組み：

役割の重複。同じ人が様々な場面で活動している。  
同じ・近い目的の活動を、違う団体がそれぞれで活動している。

活動・運営スケジュールの同時進行の整理・工夫が必要：

活動の同時進行  
催事と会運営の同時進行  
活動の範囲が広がりすぎ

活動方針や目的の見直し・親子の参加促進：

昔と同じやり方ばかりだと参加者が増えない  
次世代の種「子どもの参加」重要 親・祖父母世代の新参加に。  
次世代・担い手育成に時間が割けない **課題** に戻る問題

**第2回の目標：苗穂東地区「まちづくり活動」の課題・問題！！**

～まちづくり活動の課題における具体的な「問題点」を洗い出すこと～

## 2. 第2回の参加者（グループごとの50音順で表記：敬称略）

### Aグループ：

阿部 泰子（女性部副部長） 市橋 岩吉（財務部部長） 坂本 和行（体育振興部部長）  
佐々木 茂（保健衛生部副部長／民生委員） 中村 幸八（単町保健衛生部長）  
村田 豊美（福祉部長／総務副部長／ふれあいテン運営委員長／社協常任理事）

### Bグループ：

安保 健一（総務部副部長／健康づくり運営委員会／アマとホップ）  
内山 恵子（青少年育成部部長／地子連会長／民生委員） 大山 正夫（保健衛生部部長／総務部長）  
菖蒲川 正広（交通対策部副部長）  
吉 美智子（福祉部副部長／ふれあいテン事務局長／健康づくり運営副委員長）

### Cグループ：

大窪 学（体育振興部副部長） 片山 朋子（女性部部長／健康づくり運営副委員長）  
合田 紀子（ふれあいテン事務局次長／福祉部長）  
志田 敏江（青少年育成部副部長／地子連副会長／民生委員）  
道島 博（防火防災部副部長／区子連） 吉 正男（防犯部／部長）

### 事務局：

湯浅（連町会長）、清水（苗穂東まちづくりセンター所長）  
俵谷、佐藤、近藤、井上（株式会社ノーザンクロス）

### 3. ワークショップのようす

#### 1. 開会あいさつ

まちづくりセンター所長・清水氏  
苗穂連合町内会会長・湯浅氏より開会挨拶



#### 2. ワークショップの進め方

事務局（株）ノーザンクロスよりワークショップの目的・進め方を説明

#### 3. グループワーク

“苗穂東地区「まちづくり活動」の課題・問題！！”

問題抽出：

日頃係わっている「まちづくり活動」の問題点について、一人ひとり書き出し

問題発表

書き出した“「まちづくり活動」の問題点“について、発表しながら模造紙に貼付・意見交換（繰り返し）

問題整理

“「まちづくり活動」の問題点“について同様・正反対・関係性のあるものをグループ分けし、島を作成して整理

まとめ～問題の優先度～

重要・緊急性の高い問題や、すぐ解決できそうな課題について優先度づけ



#### 5. 各グループの発表

- ・グループの担当者がまとめを発表
- ・参加者全員で確認



#### 6. まとめ・次回予定確認

#### 7. 閉会あいさつ



#### 4. 各グループのまとめ（模造紙）

##### Aグループ



##### 課題・問題

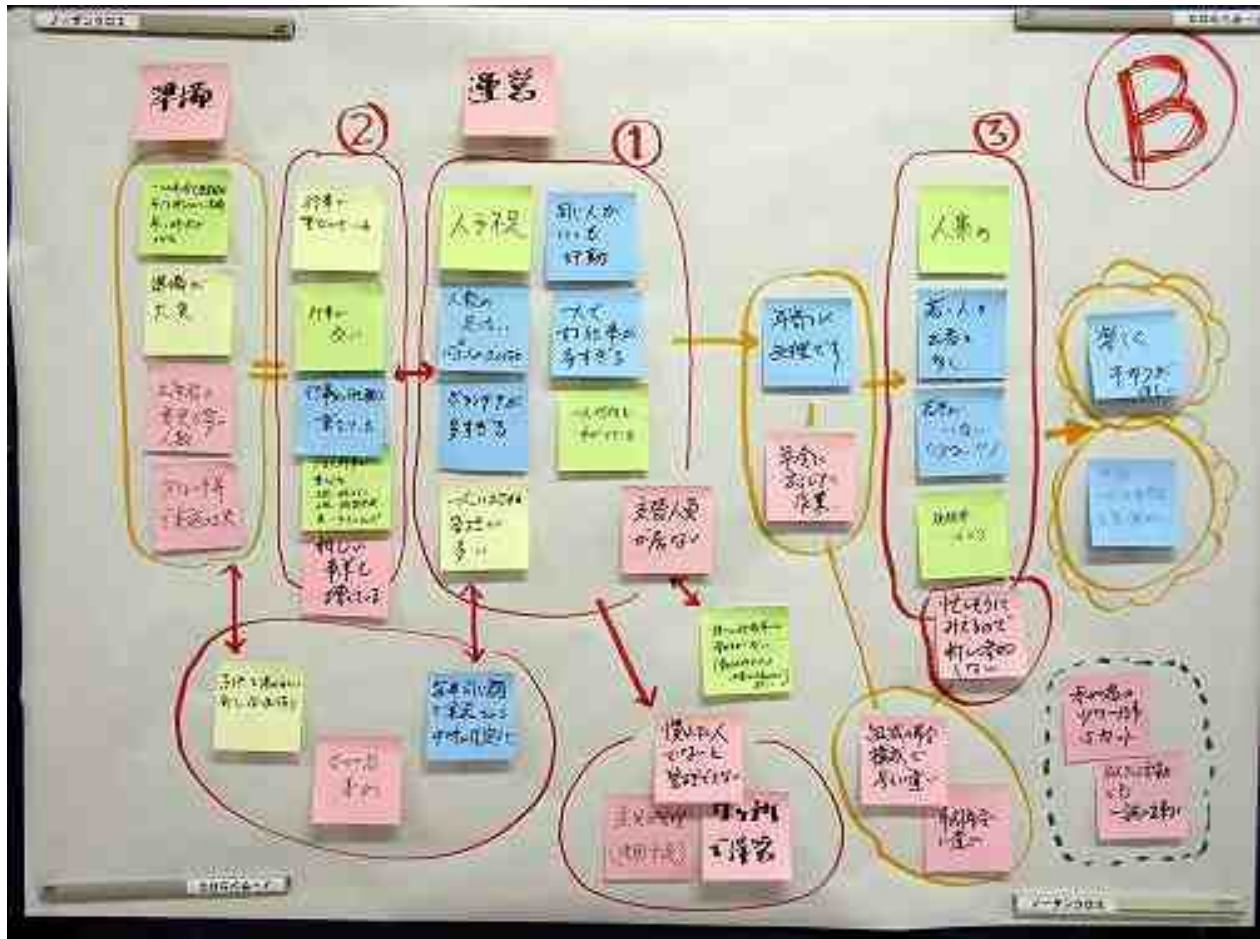
- ・運営側の負担が大きい（人手不足）
- ・参加でなく運営への参加の移行
- ・他団体との連携がとれない
- ・個人の負担や責任が重い
- ・町内会住民間で温度差がある
- ・・・など

##### 課題・問題への対策イメージ

- ・次世代担い手の発見・育成
- ・協力・応援・サポート体制づくり
- ・参加しやすい時間帯・時間割づくり
- ・役割を固定化した参加でなく、様々な役割を変え、楽しみながら活動続ける・など



## Bグループ



### 活動

- ・準備、動員、人数調整の負担が大きい
- ・行事が重なる、多い、新しい活動が増えるが古いものは減らない
- ・一人の負担が多く、進行管理できる人が不足
- ・企画の固定化 ・意見のくい違い・・・など

### 課題・問題への対策イメージ

- ・まちづくり活動の精査。効果の低いものとりやめ、似た活動の集約
- ・余裕、楽しさを増やす。たまには参加をゆったり楽しめるようにする・・・など



## Cグループ



### 活動

- ・ 動員の負担 ・ 連町だけでなく単町単位のイベントが重なる
- ・ 運営側と参加側の温度差 ・ 互いの理解不足 ・ 伝達、指揮系統の混乱
- ・ 準備ばかりで役割が固定化し達成感が目減りしていく
- ・ 無い知恵を絞り出す企画づくりが負担・・・など

### 課題・問題への対策イメージ

- ・ 実施後の見直しの集まりをもつ
- ・ 運営準備にゆとりをもたせ、しっかりしたすりあわせ
- ・ 目的・運営管理・活動の精査・整理
- ・ 楽しさ・達成感を日々味わえる工夫、具体的な目的・目標の共有・・・など



ご意見やご感想などございましたら、下記連絡先までご連絡ください。

連絡先：苗穂東まちづくりセンター

〒065-0043 札幌市東区苗穂町3丁目3-45

所長 清水 英征

電話 011-742-4427